

さいたま見学通信

さいたま支局のイベントや
工場・博物館の見どころ等をご紹介します



《博物館、庁舎・工場棟外観》

造幣局は、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」認証と環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証を取得しています。



《博物館入口》



《博物館体験コーナー》

造幣局さいたま支局は、平成 28（2016）年 10 月に東京都豊島区からさいたま市に移転しました。

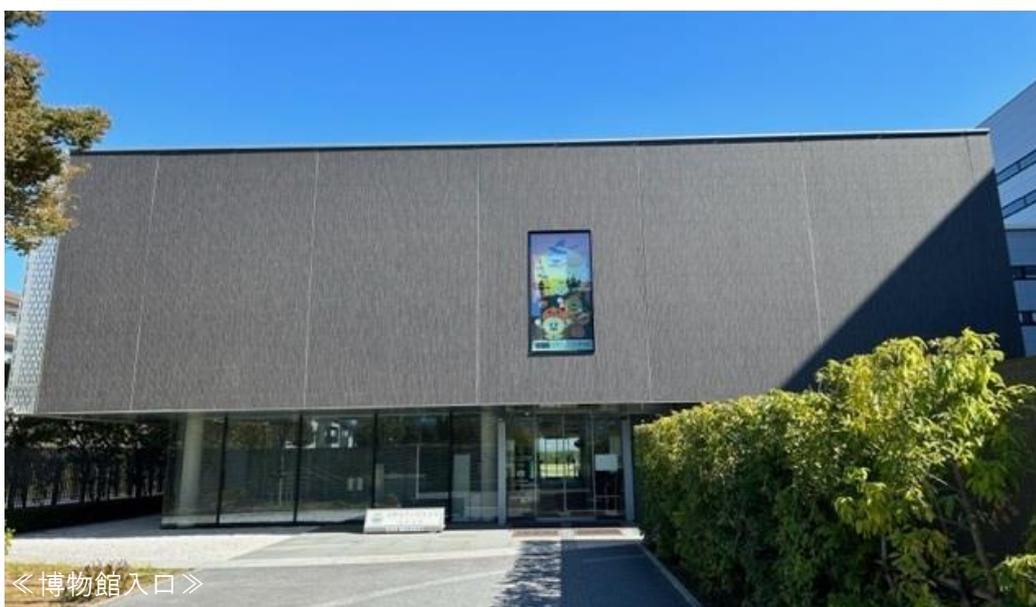
当支局では、貨幣のほか勲章の製造を行っており、その様子を工場見学通路からご覧いただくことができます。

また、併設の博物館では、これまでに発行された記念貨幣のほか、勲章、オリンピック入賞メダル、古銭など約 1,000 点を展示しています。

皆様のご来局をお待ちしております。

≪目次≫

- ・[イベント案内](#)
- ・[工場・博物館の見どころ紹介](#)
- ・[トピックス](#)
- ・[館内ミントショップのご案内](#)
- ・[「令和5年桜のさんぽ道」の様子](#)
- ・[「造幣さいたまサクスフェア2023」の様子](#) new
- ・[出張講演等の実施について](#)



≪博物館入口≫

当博物館及び工場見学通路は、SIAA（抗菌製品技術協議会）認証の抗ウイルス抗菌コーティングを施しております。✦

<入場料無料>		平日	土日祝	備考
見学エリア		博物館+工場	博物館	工場見学は平日のみ
自由見学	個人	予約不要	予約不要	自由にご見学いただけます
	団体	要予約	要予約	入館者数制限する場合あり
ガイドツアー		要予約	予約不要	平日：工場+博物館（90分） 土日祝：博物館のみ（30分）

※団体：20名以上

※業務の都合により見学できない場合があります。

イベント案内

◆工場見学ガイドツアー《予約制》

1日4回、1回当たりの見学人数を最大50名までとして実施しています。

実 施 日	月曜日～金曜日（博物館休館日（第3水曜日、年末年始、臨時休館日）、祝日を除きます。） ※その他、業務の都合により見学できない場合があります。
見学開始時間	(1)9時30分 (2)10時30分 (3)13時30分 (4)14時00分
所要時間	約90分（ビデオ上映、工場・博物館見学）
予約受付開始日	見学日の2か月前の同日（同日が土日祝日及び年末年始の場合は、前営業日）より受付開始 ※ご予約は先着順となります。
申 込 先	Tel. 048-645-5899 (平日：9時00分～12時00分、12時45分～17時00分)

《自由見学》

- 1グループ19名以下のお客様は、予約なしで自由にご見学いただけます。
- 20名以上のグループ及び観光バスでお越しの場合は、入館者数及び駐車台数に制限がありますので事前にご予約をお願いします。

◆展示室ガイドツアー（土・日、祝日） ★9/10（日）より再開★

予約不要で、1日2回（10：30～、14：30～）スタッフが博物館展示品の説明を行います。

※業務の都合により実施しない場合があります。

<休止中のイベント>

◆クイズラリー（土・日、祝日）

小学生を対象として、クイズラリーで貨幣について楽しく学んでいただきます。再開を楽しみにお待ちしております。



工場・博物館の見どころ紹介

【工場 編】

自由見学でも工場見学が可能です（稼働日のみ）。

《工場見学の様子》



貨幣の製造

◆プルーフ貨幣の製造工程（バレル研磨）

プルーフ貨幣という、収集用の貨幣をご存知ですか？
さいたま支局が主として製造している特別丁寧に造られる貨幣です。美しさの秘密は、美しい表面。こちらの研磨機で磨き上げ、鏡面のように仕上げます。



◆プルーフ貨幣の製造工程（圧印）



美しさの秘密のもうひとつは、丁寧な圧印作業。専用の圧印機で貨幣の模様を二回以上連続して圧印し、模様を鮮明に付けていきます。高級感のある革ケースに入れたらできあがり！その美しさを是非近くでご覧ください。

◆通常貨幣の製造工程

皆さんが普段お使いの貨幣がつくられる瞬間がご覧いただけます。作業がない日もありますが、出来立ての貨幣がジャラジャラと落ちてくるところは見ごたえがあります！



勲章の製造

◆匠の技

造幣局では、勲章の製造を内閣府賞勲局より請け負っています。

勲章を製造する職員の手元にご注目ください。“匠”を目指す若手職員と「匠の技」のベテラン職員。

一心不乱に素材に向かう職人の中には「現代の名工」も。

《七宝盛付け》
七宝が入る部分に
「釉薬(ゆうやく)」を
盛り付けます。



《キサゲ作業》
精密に仕上げます



【博物館 編】



《博物館見学の様子》



《壁面ラックで貨幣セットを展示》

◆記念貨幣

これまで造幣局が製造した数々の記念貨幣を展示しています。

記念貨幣に注がれた技術の進歩をお楽しみください。

また、過去には埼玉ゆかりの記念貨幣も発行されています。是非一度ご覧になってください。



《地方自治法施行60周年記念千円銀貨幣ブーフ貨幣セット(埼玉県)》



《さいたま支局で打初め式を行った「小笠原諸島復帰 50 周年記念千円銀貨幣」》

◆オリンピック入賞メダル

1964年開催の東京オリンピックから、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まで、日本で開催された過去大会の入賞メダルを展示しています。



◆大判小判

博物館では、大判小判の表裏が見ることができるアクリルタワーケースで展示しております。江戸時代の息吹を感じてください。時価数千万円のお宝も！？



《アクリルタワーケースによる展示》



《慶長大判》

◆幻の貨幣

昭和7年銘の金貨は、金本位制最後の金貨。
希少価値が高く、幻の金貨と呼ばれています。



《昭和7年銘20円金貨幣》

戦争末期、金属が不足していた時代に造られた陶製の貨幣。焼き物で有名な「愛知県瀬戸市」や「佐賀県有田市」などで製造されていました。発行前に終戦を迎え、流通せず粉碎処理されました。まさに幻の貨幣。



《陶貨》

◆コイン君（貨幣測定装置）

お手持ちの貨幣の健康診断ができます。古くなって磨耗が進み、重量が足りなくなると、「働きすぎです」と診断されます。

殆どの貨幣は「健康です」という診断になりますが、古い貨幣を手に入れたら是非お試しになってみてはいかがでしょうか。

（現在の流通貨幣に限ります。）

ディスプレイ画面で、造幣局のマスコットキャラクター達が貨幣の豆知識も教えてくれますよ！



フォトスポット

◆3Dトリックアート

館内で見ると平坦な図柄ですが、ご自身のスマートフォン等で撮影すると…

不思議、不思議～！貨幣が飛び出してきます。

いろんなポーズで撮影して、もっともっと楽しい写真をお楽しみください！



◆1円玉と背くらべ

1円玉の直径は2センチです。100枚（100円）で2メートルになります。

さて、あなたの身長は“なん円”かな？「1円玉と背くらべ」をしてみよう！

1円玉を100枚
並べているよ。



トピックス

◆造幣さいたま博物館ご来館 30 万人達成

令和 5 年 5 月 22 日（月）、来館者 30 万人を達成しました。

30 万人目の来館者は、埼玉県内からお越しのご家族で、さいたま支局長から 30 万人目の認定証書と記念品をお贈りしました。

今後も造幣さいたま博物館は、大人も子供も楽しく学べる博物館として、スタッフ一同取り組んでまいりますので、皆様ぜひご来館ください。



◆ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入

令和 2 年 1 月 20 日から、スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」による展示品の説明（英語、中国語、韓国語）を開始しました。

また、令和 3 年 3 月 29 日から日本語の説明もご覧いただけるようになりました。

※展示室内は無料 Wi-Fi をご利用いただけます（令和 5 年 3 月 16 日運用開始）。

◆授乳室の設置

平成 30 年 12 月 19 日に皆様からのお声を元に授乳室を設置しました。

赤ちゃん連れの方もお気軽に博物館へお越しください。埼玉県の赤ちゃんの駅としても登録しており、オムツ交換台も用意しています。



◆土日祝日も観光バスや歩行が困難な方には駐車スペースを用意

平成 30 年 12 月 8 日より、土日祝日も観光バスや歩行が困難な方には駐車スペースをご利用いただけるようになりました（博物館開館日に限ります。）。

駐車台数に限りがありますので、事前にご相談ください。

館内ミントショップのご案内



広く造幣事業の周知宣伝を行うとともに、造幣局が製造した金属工芸品や貨幣セットの展示・販売を行うことを目的として、ミントショップを博物館内に開設しています。

ミントショップでは、貨幣セットや金属工芸品のほか、貨幣をモチーフにした手ぬぐいや絵葉書、菓子類など造幣局に関連したミュージアムグッズも販売しています。

◆各種貨幣セット販売中！

未使用の500円から1円までの6貨種をケースに収納した貨幣セットを販売しています。



《令和5年銘ミントセット》
【販売価格：2,100円（税込）】



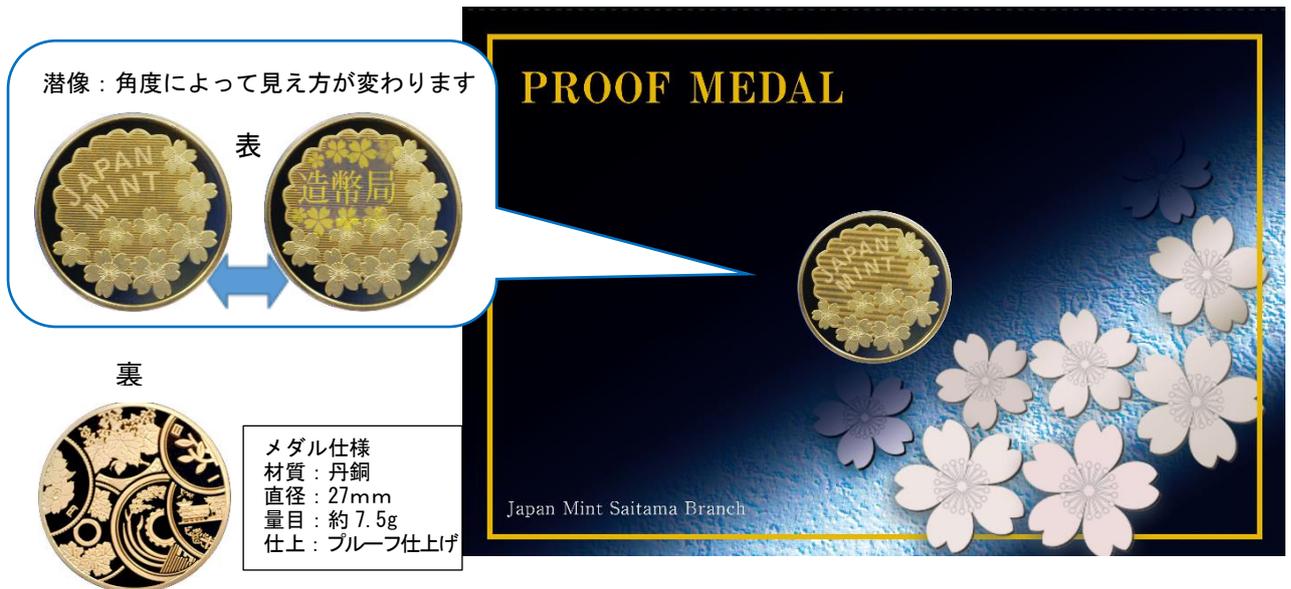
《令和5年銘記念日貨幣セット》
【販売価格：2,900円（税込）】

◆見学記念プルーフメダル（さいたま支局限定販売）

令和4年4月5日より、さいたま支局の工場や博物館のご見学記念として、さいたま支局で製造した見学記念プルーフメダルの販売を開始しました。

さいたま支局のミントショップ限定品です。

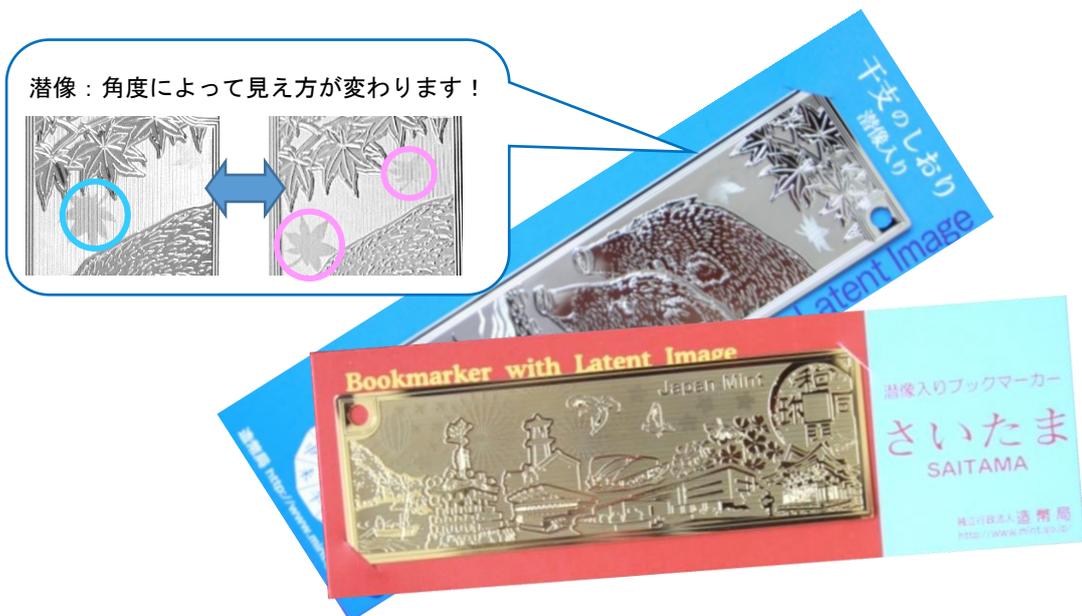
表面は、桜と造幣局・JAPAN MINTの文字、裏面は、通常貨幣6貨種の模様を配置したデザインとなっており、表面には500円の偽造防止技術である潜像加工が施されたプルーフ仕様のメダルです。



※ 台紙に入れて販売 【販売価格：1,500円（税込）】

◆潜像入りブックマーカー

500円貨幣にも使用されている偽造防止技術・潜像加工を施した造幣局オリジナルのブックマーカー（しおり）です。十二支をテーマにしたものや、当支局の所在する「さいたま」をテーマにしたものもあります。



【販売価格：金メッキ 1,300円、ニッケルメッキ 700円（いずれも税込）】

令和5年桜のさんぽ道の様子

令和3年にさいたま支局開局5周年を記念して一般開放を開始した『桜のさんぽ道』。今年は3度目の開催となりました。

日本各地の桜前線が例年よりも早く進み、八重桜もその流れのままに例年よりも早く咲き始めた今年のさんぽ道は、令和5年4月7日（金）～13日（木）の7日間の開催、4月8日（土）には工場見学も実施し、多くのお客様にお楽しみいただきました。



令和5年
桜のさんぽ道

夜桜のライトアップ



new

「造幣さいたまサクスフェア2023」の様子

令和5年10月14日（土）、15日（日）の2日間、日頃から造幣局の事業にご理解をいただいている地域の皆様へ感謝の意を込めて、『造幣さいたまサクスフェア2023』を開催しました。

3年ぶりの開催となった前回に引き続き、『休日工場見学』と子供向けの『クイズラリー』をメインに開催。初日は快晴に恵まれたものの、2日目は朝から冷たい雨が降るなど、よい条件ではありませんでしたが、2日間で1,394人の方々にご来場いただきました。



《サックスフェア限定のスペシャルな工場見学》

休日にはご覧いただけない工場を稼働し、2日間限定で普段よりパワーアップした休日工場見学を楽しんでいただきました。

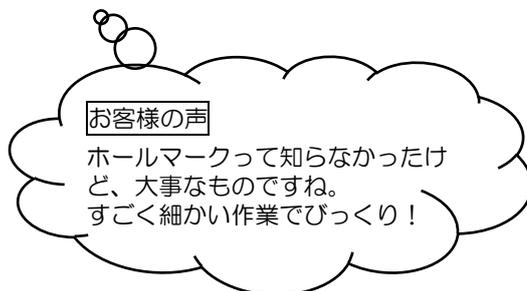


<スペシャルその1> 【品位証明：打刻実演】

普段は見学できない品位証明記号（ホールマーク）の打刻実演コーナーを設けて、特別に見学していただきました。



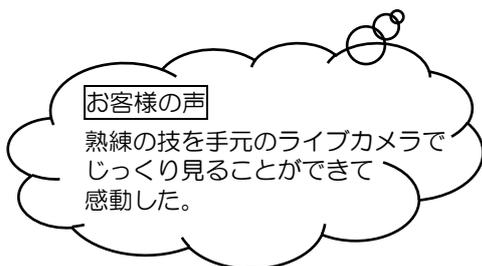
成形する前のスプーンへ打刻したものを見ていただきます。



<スペシャルその2> 【勲章製造工程：手元カメラによるライブ上映】

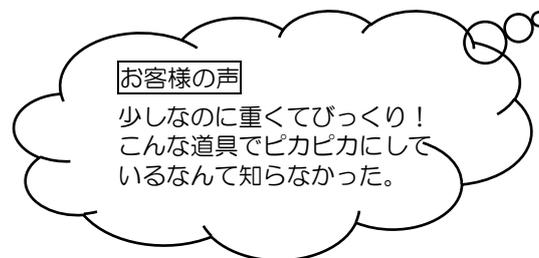
現代の名工等の卓越した技能を間近で見ることができるよう、手元をカメラで撮影して見学通路側に設置したライブカメラで上映しました。

担当職員による説明もフェアだけのスペシャル！



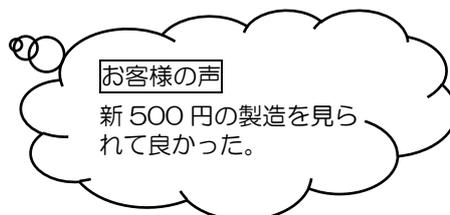
<スペシャルその3> 【プルーフ貨幣製造工程：洗浄バレル作業のスケジュール表示】

円形をピカピカに磨くためのメディア（ステンレスボール）を実際に触っていただきました。またその重さも体験していただきました。



<スペシャルその4> 【通常貨幣製造工程：極印などの展示】

普段は目にする事のない通常貨幣の極印（貨幣に模様をつける金型）や500円バイカラークラッド貨幣のコアとリングを組み合わせる仕組みなどを特別に展示しました。



《学習型イベント》

【キッズチャレンジ（クイズラリー）】

小学生以下を対象にクイズラリーを行いました。ヒントを頼りにクイズに挑戦！工場と博物館を見学しながら楽しんでいただきました。



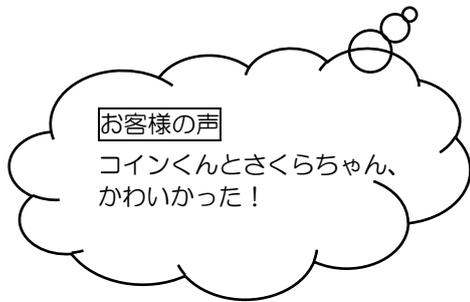
■特別展「おはなしに登場するお金～昔話から推理小説まで～」

大阪で夏に開催した特別展を、さいたまではサンクスフェアの時期に合わせて同時開催しました。

昔話や落語から海外のおはなしまで、人々の生活に欠かせないお金が、おはなしの中でどのように描かれていたかを実物の展示とともに紹介しました。



■キャラクターふれあいタイム
 昨年のサンクスフェアから登場した『さくらちゃん』とお馴染み『コインくん』との記念撮影会は、お子様だけでなく大人にも大人気でした。皆さん笑顔で楽しめました。



前回から登場した顔出し
 パネルも人気でした



造幣さいたまサンクスフェア 2023
 ご来場ありがとうございました。

出張講演等の実施について

【出張ミニ講座（さいたま市立大宮図書館）】

令和4年11月27日（日）、さいたま市立大宮図書館からご依頼をいただき、貨幣にまつわるミニ講座を開催しました。参加者は、貨幣の役割や貨幣のデザイン、偽造防止技術等の説明内容をメモに取るなど熱心に聴講され、貨幣への理解を深めていただきました。講座終了後には見学申込についての質問もあり、博物館や工場見学を知っていただくよい機会となりました。



【こども霞が関見学デー】

令和5年8月2日（水）・3日（木）の2日間、「こども霞が関見学デー」が開催されました。これは、各府省庁等が連携して業務説明や見学などを行うことにより、親子の触れ合いを深め広く社会を知る体験活動の機会とすることを目的としています。造幣局では、さいたま支局で「ぞうへいきよく親子見学会」を開催しました。参加された親子の皆さんに、貨幣にまつわるあれこれや偽造防止技術をクイズを交えたミニ講座で学んでいただき、工場・博物館の見学ツアーを楽しんでいただきました。



【夏休み企画「大宮区ミュージアムスタンプラリー」】

令和5年8月4日（金）から25日（金）までの期間、区内の3カ所の施設を巡りスタンプを集める「大宮区ミュージアムスタンプラリー」に参加しました。また、大宮区役所1階展示スペースにおいて、イベント参加施設を紹介するパネル展示があり、造幣さいたま博物館の案内のほか、記念貨幣などを紹介する展示を行いました。



【オンライン講座（埼玉県立けやき特別支援学校）】

令和4年5月13日（土）、埼玉県立けやき特別支援学校（埼玉県小児医療センター院内学級）からご依頼をいただき、オンライン講座を開催しました。

「コイン（貨幣）について～造幣局の事業～」と題した講座で、中学生を対象に、造幣局の事業・貨幣の種類やデザインの説明・偽造防止技術の紹介などを行い、クイズを交えて楽しく学びながら貨幣に対する理解を深めていただきました。



【出張ミニ講座（さいたま市立針ヶ谷小学校）】

令和3年10月27日（水）、さいたま市立針ヶ谷小学校からご依頼をいただき、貨幣にまつわるミニ講座を開催しました。貨幣のデザインにまつわる説明や、貨幣の偽造防止技術の紹介などをクイズを交えて楽しく学んでいただき、講座後には児童の皆さんから、たくさんの質問を受けました。

初めて取組んだ小学校へのお出張講座は、貨幣への理解を深めていただく良い機会となりました。

